



バッティングティーの上に置かれたボールを打つ児童たち

ティーボール教室 丁寧な指導で上達

12月2日、五日市小学校(小関稔校長、児童23人)の1、2年生を対象にティーボール教室(岩手県高校野球連盟主催)が行われました。

子どもたちは、ボールの捕り方や投げ方、バットの振り方など、野球の基本となる体の使い方を楽しみながら学習。丁寧な指導を受け、どんどん上達していきました。

土谷翔真(2年)さんは「将来の夢はプロ野球選手です。バットをいっぱい振ってホームランを打つことができました。これからも頑張ります」と目を輝かせ、真剣に取り組んでいました。

葛中いのちの学習会 命の誕生理解深める

いのちの学習会(町学校保健会養護教諭中学校部会主催)は12月9日、葛巻中学校(天間保幸校長、生徒63人)の2年生を対象に行われました。

「赤ちゃんのパワーを感じよう」をテーマに、命の誕生について学習。赤ちゃんの人形を使用して、頭や首に注意しながら手を添え、抱きかかえる体験も行われました。大石光さんは「赤ちゃんには人を幸せにするパワーがあることを学びました」、田澤和珠さんは「たくさんの人の手を借りて成長していることが分かりました」と命の大切さを学んだ様子でした。



赤ちゃんの人形を優しく抱きかかえる生徒

9人制バレーボール 熱戦で交流を深める

第48回町民9人制バレーボール大会は12月13日、社会体育館で開催され、4チームが参加し選手らは白熱した戦いを繰り広げました。

試合の合間に換気をするなど、感染症対策を徹底して行った大会には、10代から70代までの幅広い年齢層の選手が参加。下天広楓さん(葛巻中1年)は「バレーボールを通じて、いろいろな年代の人たちとコミュニケーションをとることができて楽しかったです。9人制のルールは、サーブのやり方などが6人制とは違い勉強になりました」とアドバイスに耳を傾けていました。



白熱した戦いを繰り広げる決勝戦(五笑チーム VS 浦子内)



講師の齋藤誠子さんに推敲のこつを教えてください児童

推敲重ね思い伝える 葛小6年が俳句教室

葛巻小学校(佐藤隆司校長、児童108人)の俳句教室は11月27日、葛巻俳句会の齋藤誠子さん(すいこう)を講師に迎え、6年生を対象に行われました。

児童らはひと文字変えると意味が変わる「助詞」について確認。事前に考えた俳句を、さらに良い句にするため、推敲を重ねました。

冬をテーマに「白息が 今年のくれを 教えたい」と季節の移り変わりを詠んだ村中愛優さんは「学校に通学するとき、外に出ると息が白く、秋から冬に変わったことを感じた気持ちを込めました」と作品への思いを教えてくださいました。

除雪車との触れ合い通じ 交通事故防止を呼び掛け

町では、冬期間の除雪グレーダーの出動を間近に控え、11月30日と12月1日の2日間、町内の各保育園を訪問し、雪道での交通事故防止を呼び掛けました。

小屋瀬保育園(深澤口久美子園長囑託員、園児8人)では、真新しいグレーダーの到着に園児らは大喜び。興味深げに見上げたり、タイヤを触って楽しんでいました。千葉翔太郎くん(5歳)と林佳樹くん(6歳)は「タイヤが自分の背より大きくてかっこよかった」と目を輝かせ、雪道で除雪車に近づかないことを約束してくれました。



除雪グレーダーの大きさに驚く園児たち

やどり木で販売体験 手作りおやつで交流

12月13日、葛巻高校(木村基校長、生徒131人)に通う山村留学生ら6人がcafeやどり木で販売企画イベントを行いました。

町民との交流機会の創出や職業選択の幅を広げることなどを目的に実施。生徒らは事前の情報発信のほか、デザートの販売や接客を体験しました。舞原稜大さん(1年)は「さまざまな分野のことに挑戦し、将来に役立てていきたい」と話し、田村優衣さん(同)は「想定外のこともありましたが、協力して乗り切ることができて良かったです」と充実した顔をのぞかせていました。



販売企画イベントの準備をする生徒たち